

工事事務(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事務が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事務が再び発生することのないように工事事務概要を皆様にお知らせ致します。

本資料を活用し、請負業者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願い致します。

【工事事務(速報)発生状況】 (H21.2.28現在)

	2月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成20年度(今年度)	17件	96件	2人	50人
平成19年度(昨年度)	11件	112件	4人	56人

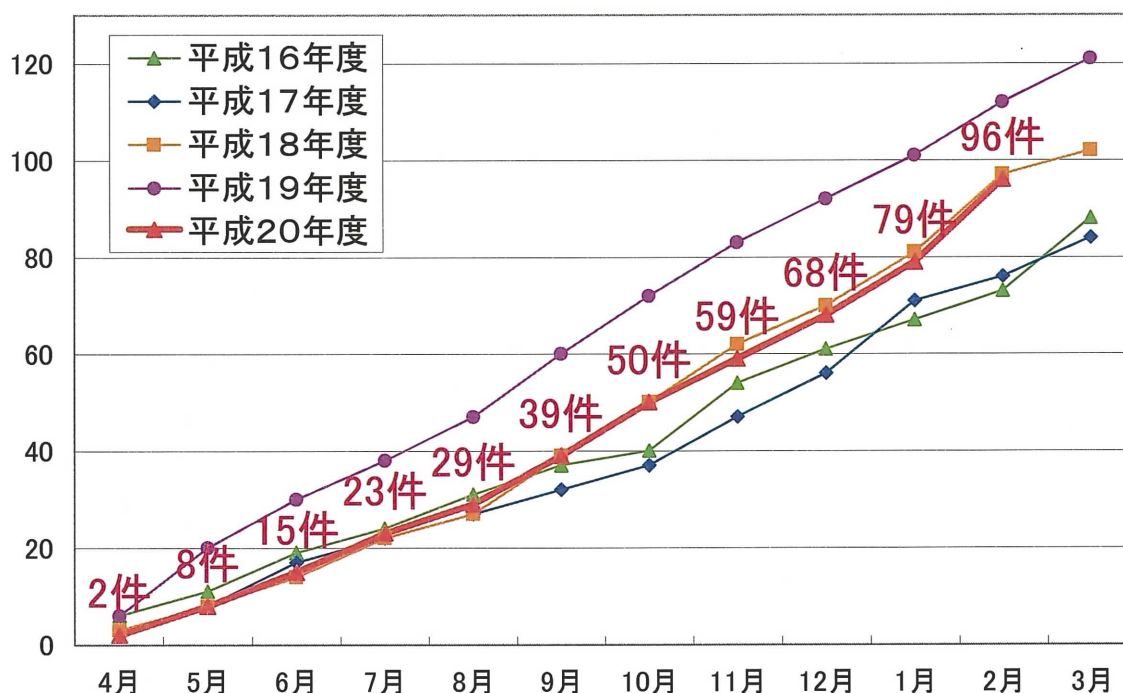
注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事務発生件数(速報)を示す。

注2) 「1月発生件数」は、2/1～2/28の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～2/28の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～2/28の累計人数を示す。

注5) 平成20年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。



■問い合わせ先:企画部 技術調査課 守谷・平井 (TEL 048-600-1332)

別紙

発生日時	平成 21 年	2 月	3 日 (火)	10 時 55 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	—	—	—	高速道路桁損傷		
事故概要	バックホウにて材料を運んでいたところ、バックホウのアームが高速道路の桁に接触し、損傷させた。					

現場状況図



材料を持ち上げ、横に旋回する際、本工事で立てていた「のぼり旗」をかわそうとしたところ、上空の桁にアームが接触。



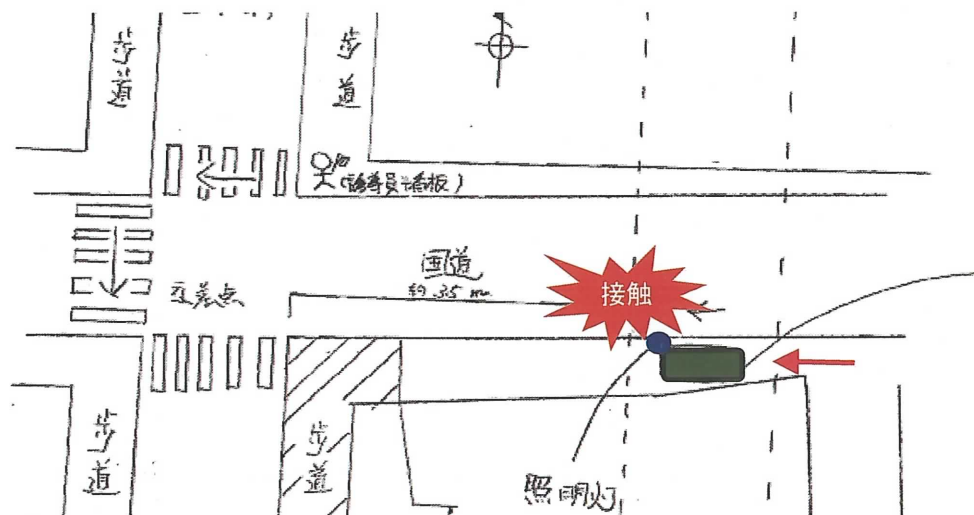
損傷状況

【速報段階での事故発生原因(推察)】

・資材運搬作業について、施工上の配慮不足によるもの。

発生日時	平成 21 年 2 月 3 日 (火) 14 時 00 分				天候	曇
工事情報	道路系事務所 As舗装工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	—	—	—	照明灯損傷		
事故概要	路面補修工事中、ダンプトラックをバックで現場に搬入させたところ、誤って照明灯(県所有)に接触し、損傷させたもの。					

事故発生状況



- ・舗装作業のために合材を現場に持ち込む予定だった。
- ・誘導員を配置していたが、障害物に気が付かなかった。



現場状況



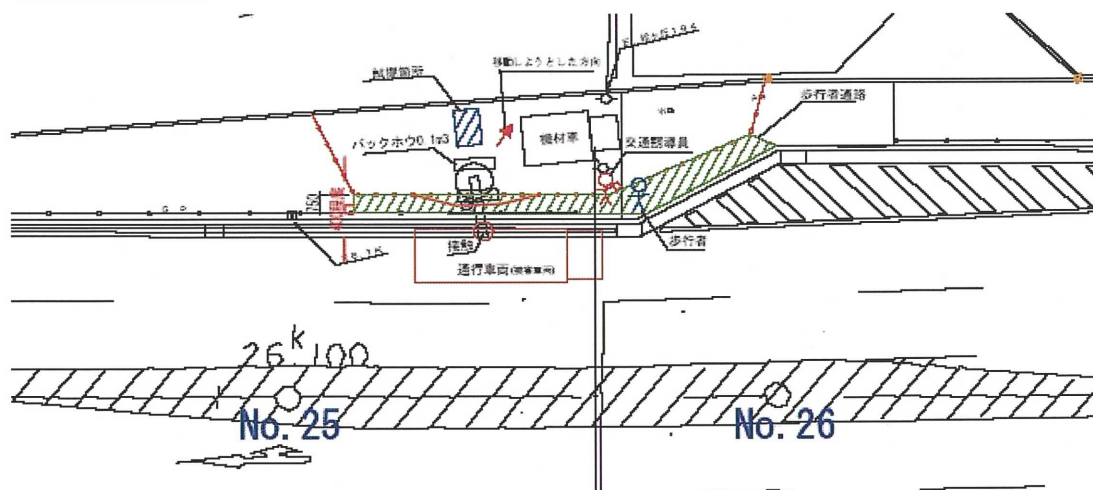
損傷箇所

【速報段階での事故発生原因(推察)】

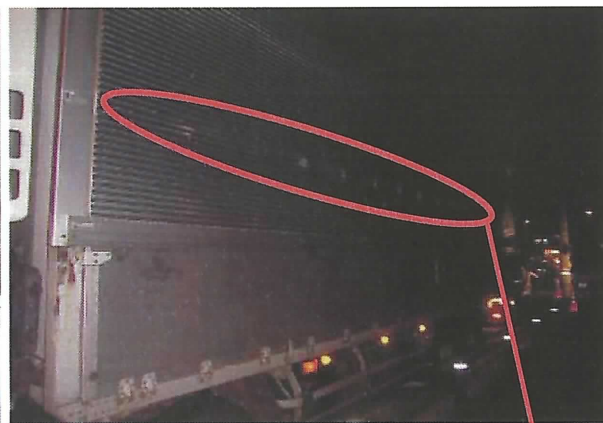
- ・誘導員及びダンプ運転手の後方確認不足によるもの。

発生日時	平成 21 年 2 月 4 日 (水) 2 時 10 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 As舗装工事		
被災の状況	性別	年齢	職種
	—	—	—
	被災の程度		
	第三者車両損傷		
事故概要	バックホウにて埋め戻し作業中、オペレータが操作を誤り、バケットが車道側に振れてしまった。結果、走行中の一般車両(トラック)に接触したもの。		

事故発生状況



- ・バックホウの稼働中は、誘導員と周囲の安全を確認しながら作業することになっていた。
- ・事故直前、安全装置を解除した状況で安全確認を行っていた。



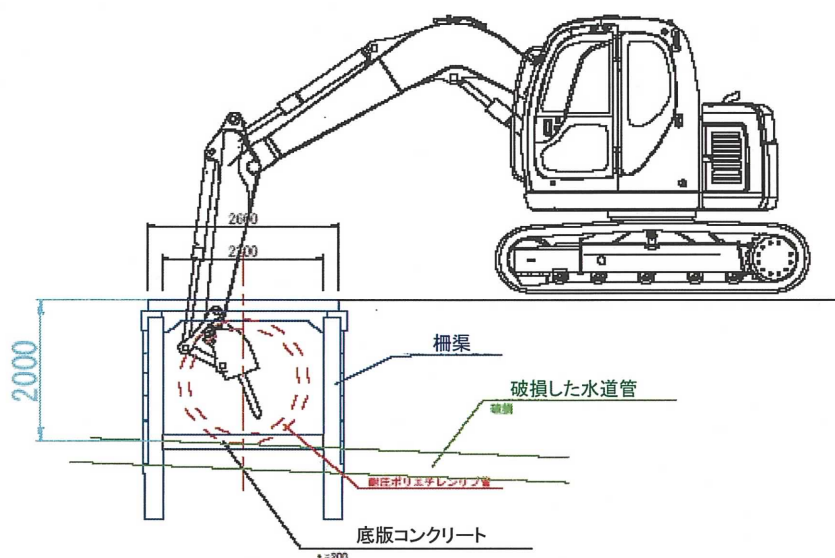
損傷箇所

【速報段階での事故発生原因(推察)】

- ・オペレータに対する安全教育不足(安全装置を解除した状態で周囲の安全を確認したこと)

発生日時	平成 21 年 2 月 6 日 (金)				8 時 45 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	—	—	—	水道管(φ350)破損			
事故概要	ブレーカにて水路底版コンクリート取り壊し作業中、誤って水道管に接触し、損傷させた。						

事故発生状況



・水道管の存在は、埋設図において確認していた。

・関係機関と埋設管の位置を確認した際に、別の場所を通っていると勘違いした。

・今回の施工箇所には水道管がないと**思いこんでいた**。



水道管破損直後

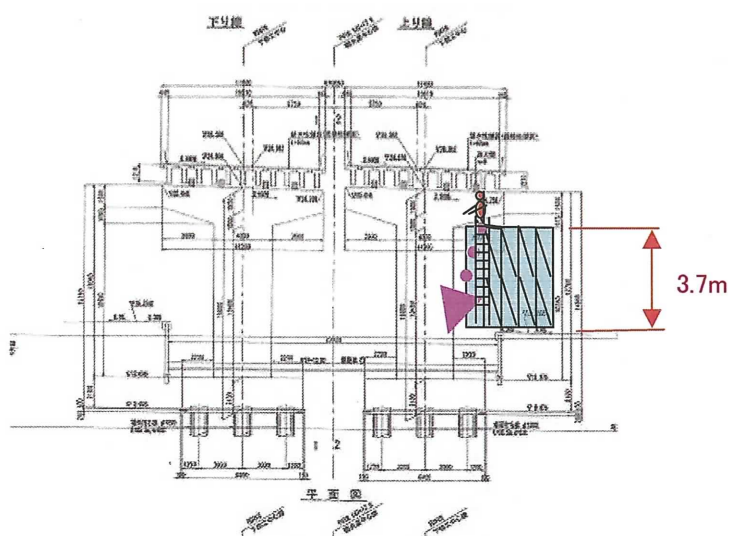
【速報段階での事故発生原因(推察)】

・水道管埋設位置の確認不足。

別紙

発生日時	平成 21 年 2 月 6 日 (金)			8 時 45 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	29	作業員	左肘脱臼、骨折及び肋骨骨折		
事故概要	安全帯を掛けている支柱を解体してしまい、支柱と共に墜落したもの。					

事故状況



・支保工の解体作業を行っていた。

・誤って解体する支柱に安全帯を付けてしまっていた。

・安全帯が付いている支柱を下ろした際、支柱と一緒に作業員が転落した。



転落状況



転落

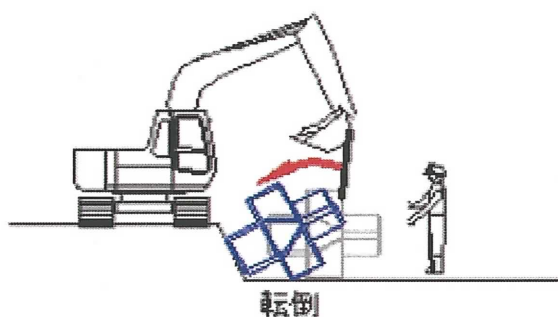
【速報段階での事故発生原因(推察)】

・安全帯の使用及び支柱の受け渡し方法不適切。

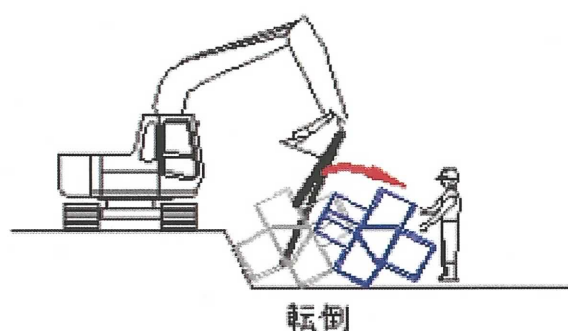
別紙

発生日時	平成	21 年	2 月	7 日 (土)	7 時 55 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	男	66	作業員	右手中指複雑骨折			
事故概要	根固めブロックと型枠に手を挟み、作業員が負傷したもの。						

事故発生状況



根固めブロックの型枠を外そうとした際、**型枠のボルトを取り忘れてしま**
い、転倒させてしまった。



・転倒した根固めブロックを一旦、基の位置に戻そうとした際、
型枠と根固ブロックの隙間に手を挟んでしまった。



根固ブロック

型枠

【速報段階での事故発生原因(推察)】

- ・作業員に対する安全教育不十分。
(吊り荷は直接手を触れない)

別紙

発生日時	平成 21 年 2 月 7 日 (土)				10 時 10 分	天候	晴
工事情報	営繕系事務所 建築工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	男	41	作業員	右手小指裂傷			
事故概要	耐震補強工事中、既設の圧入ジャッキを取り外す際、誤って右手を鋼管杭と圧入ジャッキに付属する吊りピースに挟んでしまい、作業員が負傷。						

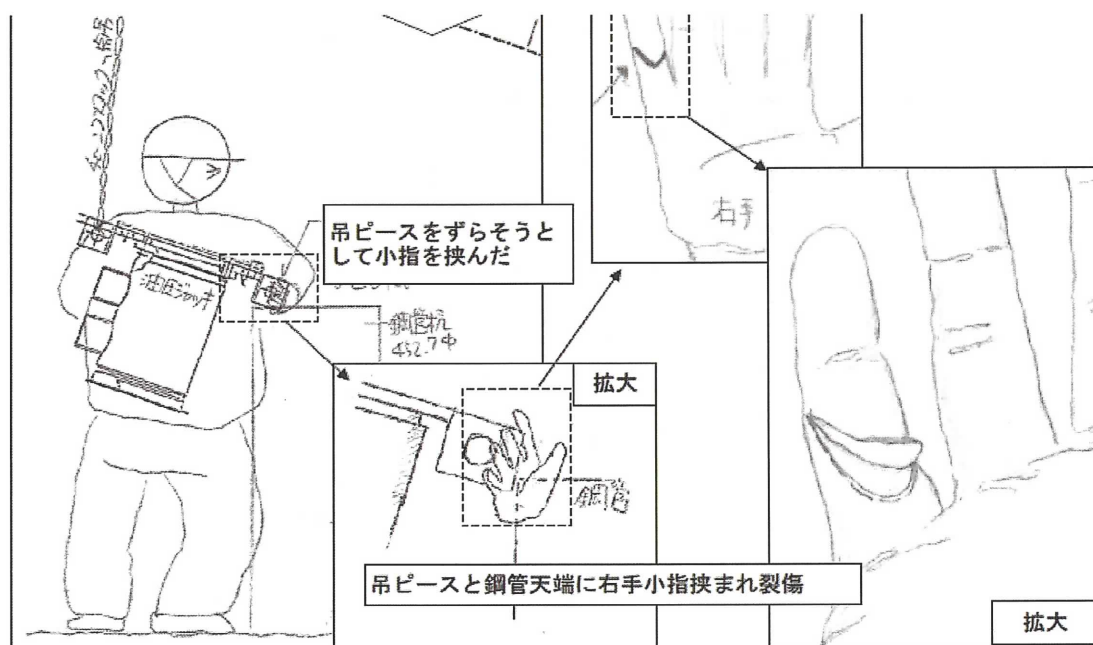
事故発生状況

圧入ジャッキ

①鋼管杭上に
一旦仮置

②仮置後、地面に降ろそうとしたところ、付属の吊りピースと鋼管杭に手を挟まれ負傷した。

吊りピース

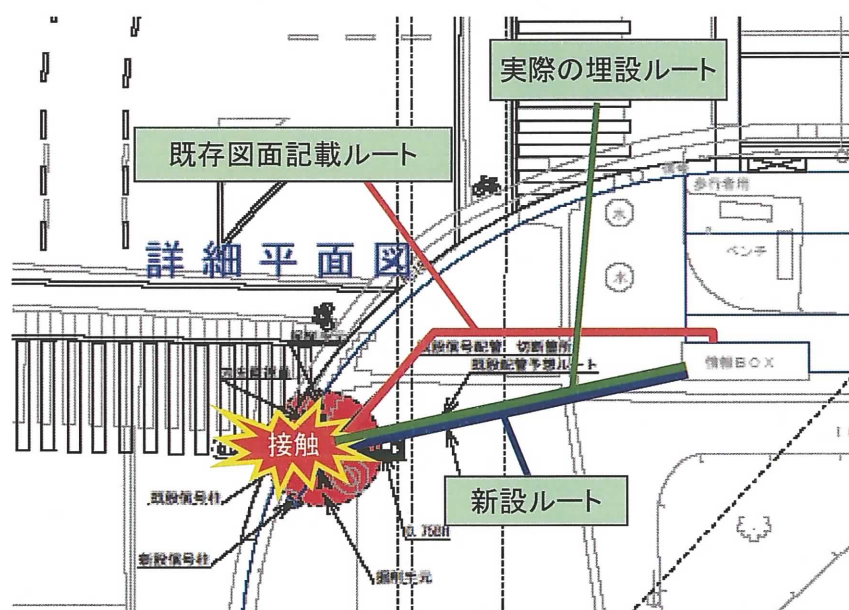


【速報段階での事故発生原因(推察)】

・圧入ジャッキの取り外し方の周知徹底不足

発生日時	平成 21 年 2 月 9 日 (月) 9 時 26 分				天候	晴
工事情報	道路系事務所 As舗装工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	—	—	—	信号ケーブル切断		
事故概要	交差点にて信号機移設作業中、誤って既設の信号ケーブルにバックホウの爪が接触し、切断させたもの。					

事故発生状況



・既存図面記載ルートと実際の埋設ルートが異なっていることは**事前に把握**していた。

・実際のルートが不明確なまま新設ルートの掘削を続けた。

・結果、バックホウの爪で既存信号機ケーブルに接触し、切断させた。



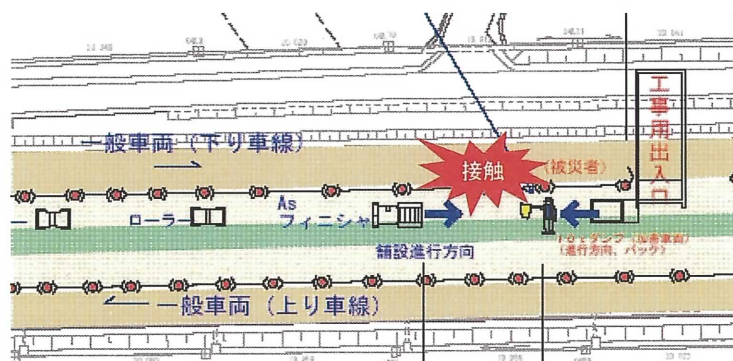
現場状況写真

【速報段階での事故発生原因(推察)】

・地下埋設物が予想される箇所において機械掘削を行ったこと。

発生日時	平成 21 年 2 月 10 日 (火) 10 時 0 分				天候	晴
工事情報	道路系事務所 As舗装工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	34	作業員	右腕骨折、右大腿部骨折 他		
事故概要	規制帯内をダンプトラックが後進中、誘導員を轢いたもの。					

事故状況



・4車線道路の中央2車線を規制し、舗装工事を行っていた。

・フィニッシャーにアスファルトを積み込むため、ダンプを後進させた。**(誘導員の合図なしに後進)**

・結果、誘導員はダンプの後進に気付かず、轢かれた。



事故状況写真

【速報段階での事故発生原因(推察)】

- ・ダンプが誘導員の合図なしに後進したこと。
- ・誘導員が不用意にダンプに近づいたこと。

発生日時	平成 21 年 2 月 10 日 (火)				15 時 45 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	女	66	作業員	両足裂傷			
事故概要	作業員が道路脇で休憩中、バックで進入してきたダンプに足を轢かれ負傷したもの						

事故発生状況



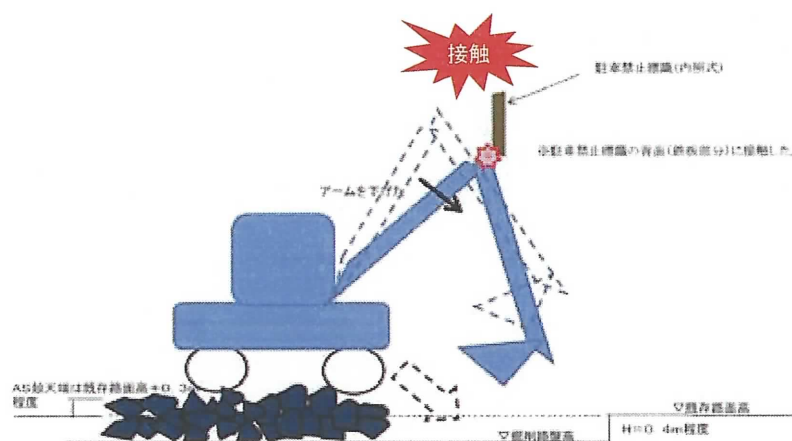
- ・写真奥が作業現場
- ・作業現場へダンプがバックで進入するところ、通路横で休憩していた作業員に接触。
- ・誘導員は配置していなかった。

【速報段階での事故発生原因(推察)】

- ・ダンプ進入時に誘導員を配置していない。

発生日時	平成 21 年 2 月 11 日 (水)				0 時 30 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 As舗装工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	—	—	—	駐停車禁止標識損傷			
事故概要	不陸整正作業中、バックホウのアームを下げたところ、目測を誤り、上空の標識に接触し、損傷させたもの。						

事故発生状況



- ・アスファルト天端から掘削路盤面に降りようとした。
- ・降る際にアームが標識に接触すると思い、アームを下げた。
- ・アームを下げた際に上空の標識に接触し破損させた。



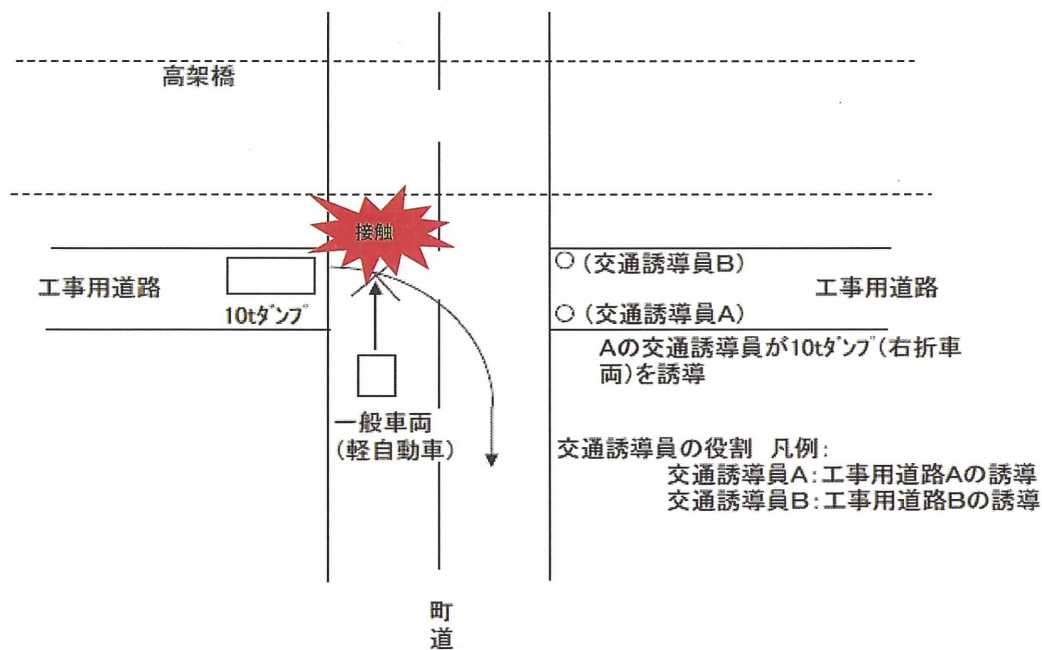
標識損傷状況

【速報段階での事故発生原因(推察)】

- ・架空線に対して注意不足によるもの。

発生日時	平成 21 年 2 月 12 日 (木)				9 時 35 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	男		第三者	右足負傷 軽自動車前面破損			
事故概要	ダンプが工事用道路出入り口を右折したところ、直進してきた一般車と接触し、損傷したもの。						

事故発生状況



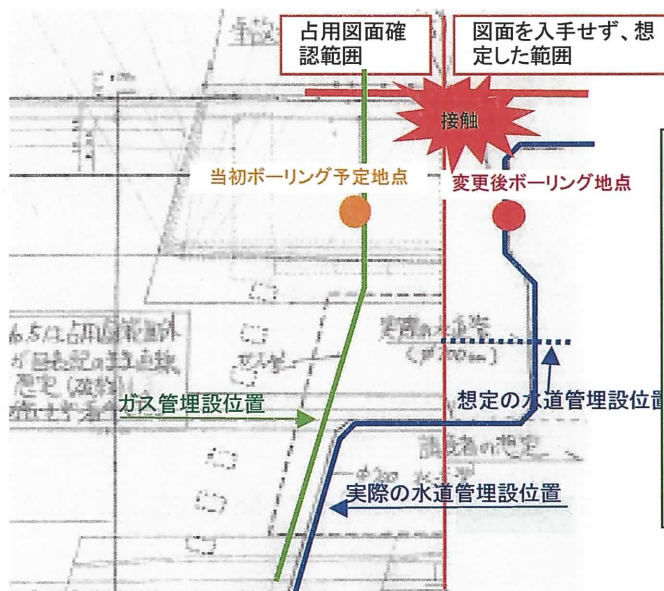
- ・土砂搬出のため、工事用道路からダンプが町道に出るところだった。
- ・その際、右からきた一般車と衝突。
- ・ダンプ運転手は誘導員の合図に気が付かなかった。

【速報段階での事故発生原因(推察)】

- ・ダンプ運転手に対しての「一時停止」が徹底されていない。

発生日時	平成 21 年 2 月 14 日 (土) 15 時 0 分				天候	晴
工事情報	道路系事務所 業務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	—	—	—	—		
事故概要	ボーリング作業中、東京都の水道管(φ700)を破損したもの。					

事故発生状況



・ボーリング地点は、発注者が貸与した占有図面の範囲外であったが、占有図面から水道管がそのまま直線的に延びていると思いこみ、図面を入手せずに作業を継続した。

・結果、水道管(φ700)を破損させた。

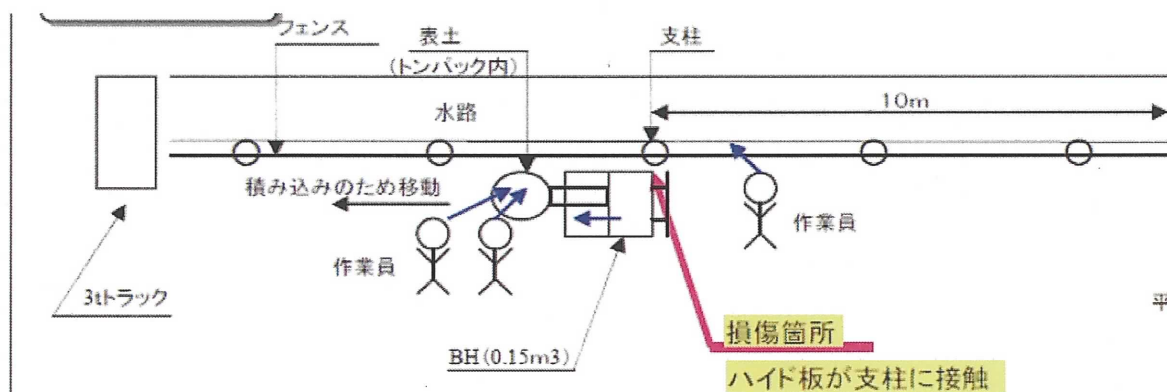


【速報段階での事故発生原因(推察)】

・図面を入手せず思いこみで作業を継続させたこと。

発生日時	平成 21 年 2 月 17 日 (火) 11 時 40 分				天候	曇
工事情報	河川系事務所 電気設備工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	—	—	—	—		
事故概要	バックホウ(0.1m2)にて堤防の表土を掘削する作業をしていたところ、川裏フェンス(川越市管理)にバックホウのハイド版が接触し、損傷させたもの。					

事故発生状況



傾斜地での作業状況

破損箇所

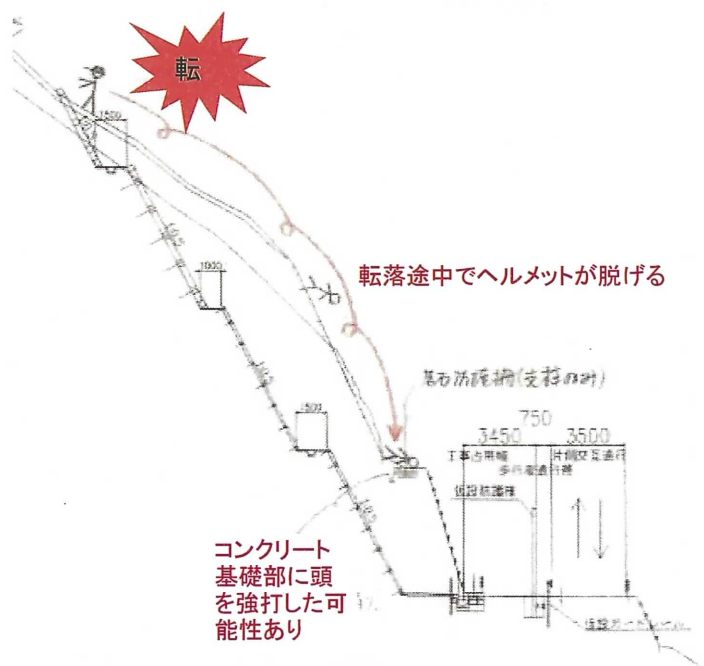
- ・堤防の表土を掘削する工事を行っていた。
- ・掘削した土砂をバックホウ(トンバックを吊りフックに取付)で運搬していた。
- ・運搬中、バックホウが横滑りし、ハイド版がフェンスの支柱に接触し、損傷させた。

【速報段階での事故発生原因(推察)】

- ・傾斜面での作業に対する安全管理不足。

発生日時	平成 21 年 2 月 17 日 (火) 14 時 50 分				天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	73	作業員	死亡		
事故概要	法面にて伐採作業中、作業員が足を滑らせ転落し、死亡したもの。					

事故発生状況



・25m程度の高所法面において、伐採作業を行っていた。

伐採後、残った切株を細かく切る作業を行うため、体勢を変えようとしたところ、足を滑らせ、転落した。

・親綱やロリップも付けていたが、外れてしまった。

・転落途中でヘルメットも脱げた。



法面上部より



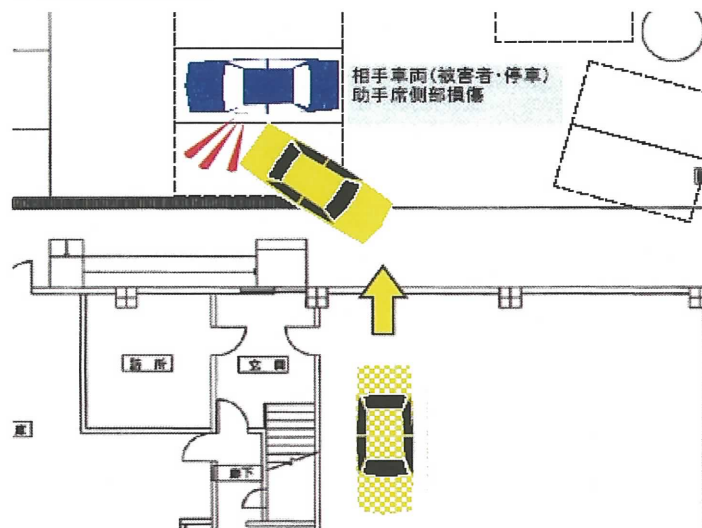
法面下部の落石防護柵

【速報段階での事故発生原因(推察)】

・調査中

発生日時	平成 21 年 2 月 23 日 (月) 11 時 50 分				天候	雨
工事情報	道路系事務所 役務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	—	—	—	第三者車両、助手席ドア損傷		
事故概要	駐車場に駐車するため、バックで進入したところ、駐車中の第三者車両に接触し、損傷させたもの。					

事故発生状況



・構内に駐車中の車両を、外の駐車場に移動させようとバックした。

・その際、目測を誤り、駐車中の一般車に接触した。



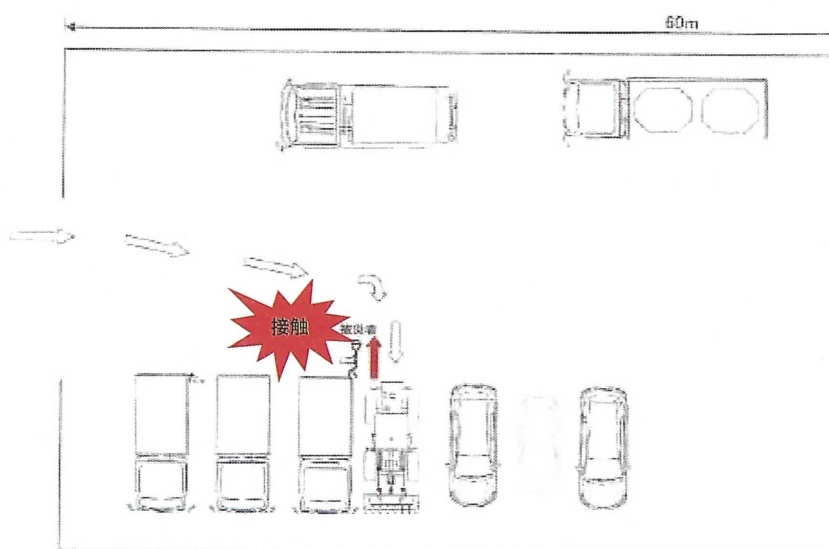
一般車損傷状況

【速報段階での事故発生原因(推察)】

・運転手の後方確認不足によるもの。

発生日時	平成 21 年 2 月 24 日 (火)				16 時 40 分	天候	曇
工事情報	道路系事務所 As舗装工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	—	—	—				
事故概要	工事の資材置き場内で作業員が左足を後進してきた工事車両(タイヤショベル)に踏まれ、負傷(骨折)したもの。						

事故発生状況

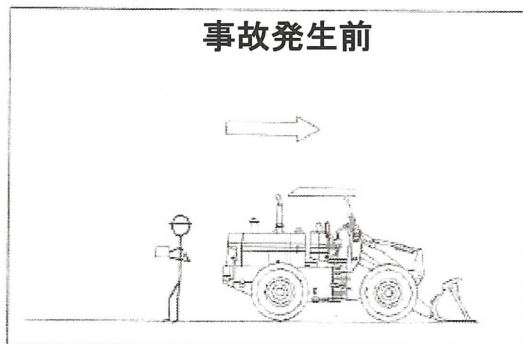


・工事の資材置場内にタイヤショベルを駐車(前向き)した。

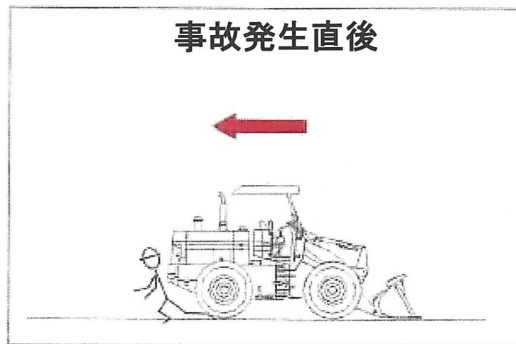
・一度駐車スペースに収まったが、位置が悪かったので再度バックして入れ直そうとした。

・バックした際、後部にいた誘導員に気が付かず、接触してしまった。

事故発生前



事故発生直後



【速報段階での事故発生原因(推察)】

・誘導員及びオペレータの確認不足によるもの。